

## 1 4 地域公共交通の維持・確保

地域政策局地域力創造課

### 提案の要旨

#### 生活バスや生活航路などの地域公共交通の維持・確保

### 現状及び課題

呉市の公共交通は、市域を東西に貫くJR呉線と市域の大部分をカバーする路線バスを基軸とし、これらを補完する移動手段として、民間事業者に依頼し運行する生活バスや、本土と離島とを結ぶ航路等で構成されており、いずれの交通機関も生活に不可欠な移動手段となっています。

しかしながら、少子高齢化や過疎化の進行等による輸送人員の減少が続く中、民間バス路線の再編・見直しや航路の減便・廃止が相次ぐなど、地域公共交通を取り巻く情勢は大変厳しい状況にあります。

このため呉市では、既存生活バスへの運行支援に加え、平成26年10月からは、民間バス路線の退出に伴う新規生活バスの運行支援を開始しており、航路についても、運航経費の一部を市単独で助成するとともに、平成27年4月には、運営の効率化を目指して離島航路補助対象2航路の経営主体を統合するなど、地域公共交通を維持するための施策を講じているところです。

このように地域公共交通を取り巻く環境が厳しさを増す中、県においては、生活交通路線及び生活航路等の維持・確保に向け、対策を講じていただいているところですが、将来にわたり安定的に地域公共交通を維持・確保していくためにも、より一層の取組が求められています。

### 取組状況等

#### ○ 呉市内生活バス路線運行地区、路線・系統数及び市負担額

区分	運行地区名	人口	路線・系統数	市負担額（H28予算）
既存	下蒲刈地区	1,518人	1路線 2系統	11,400千円
	川尻地区	8,678人	1路線 2系統	10,800千円
	倉橋地区	5,676人	4路線 14系統	21,600千円
	安浦地区	11,203人	4路線 11系統	23,300千円
新規	音戸地区	12,204人	1路線 3系統	14,270千円
	広地区	46,942人	1路線 3系統	11,780千円
	横路地区		1路線 5系統	16,460千円
	昭和地区	34,349人	3路線 7系統	34,190千円

※人口は、平成28年3月末現在の住民基本台帳による。

#### ○ 呉市域生活航路及び市負担額

種別	航路名	市負担額（H28予算）
離島航路	三角～久比航路	8,553千円
	斎島～久比航路	
生活航路	情島航路	8,300千円
	小長～明石航路	21,000千円
	音戸渡船	4,000千円

### 提案の内容

#### ○ 生活バスや生活航路などの地域公共交通網の維持・確保

地域住民の移動手段として不可欠な地域公共交通を将来にわたり維持し、確保していくための地域の実情に応じた制度の創設・拡充を図ること。

# 生活バス等路線図及び航路図

- 既存生活バス
- 新規生活バス  
(平成26年10月運行開始)
- 乗合タクシー
- ⋯ 離島航路
- - - 生活航路

